

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 10月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。自治会活動の中で協力を呼びかける。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	定期的な避難訓練は実施しているが、近年天災が発生し、いつどこで災害が起こるかわからない状況である。細かな実践的な訓練や対策の必要性を実感しているが、具体性に欠けている。今後、適切な防災対策、対応ができる体制の強化が必要。	防災対策の強化体制を確立し、訓練を実施する。①職員の防災意識を高める。②防火、風水害、地震管理体制を整備する。③災害対策を充実させることで、利用者、職員が安心して暮らせる環境づくりをする。	①に対して 訓練を繰り返すことで、防災意識の向上を図る。それと共に改善点を見出し、対策、マニュアルを充実させる。②食料や防災グッズの備蓄をする。③地域の住民の方々の協力を得て、避難訓練を実施する。	12ヶ月
2	20	コロナ禍の中、外出や家族との面会を制限し、認知機能や身体機能、精神機能への影響が考えられる。また職員の新型コロナ感染への恐怖感があり、消極的な行動が見られる。	職員が適切な感染対策を実施することで行事の計画や、日々の活動を充実させる。	①新型コロナ感染対策の正しい知識、情報を得て、感染防止対策を実施しながら野外活動の計画、地域活動などへの参加をする。面会の方法を検討し、出来るだけ家族との接触を図り、疎遠にならないようにする。②正しい感染対策の知識を得るために、常に新しい情報を得る。外部研修に参加し、職員全員が感染対策を実施し、安心して面会や行事等を実施できる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。